



神戸市で倒壊した7階建てビル(朝日新聞)



4mも隆起して機能が壊れた鹿磯漁港(同上)

液状化で、道も標識も住居もグチャグチャの内灘町(共同)



憲法を生かす会・灘

毎月二五日
憲法を生かす会・灘 発行

ニュース

239号
2024年1月25日

神戸市灘区天城通
3-5-19
TEL.078-801-8448
FAX.078-801-8899
nsp-nada@vega.ocn.ne.jp

1月25日現在
《呼びかけ人》 38人
《会員》 66人・5団体
《賛助会員》 65人
個人会員の会費は年三千元
賛助会員の会費は年千円以上
◎呼びかけ人と会員は募集中

郵便振替口座：
00900-4-204718
憲法を生かす会・灘

生かされない教訓、阪神大震災から来年は30年

これが、人間の住む街だろっか？

「喉元過ぎれば・・・」とか「忘れた頃にやってくる」とか言われる大地震が1月1日やって来ました。でもこのことわざは、

庶民に向けた言葉ではなく政治家に対してです。政治資金問題で派閥を解散すると言ってみたり、国土強靱化と言ってみたり、ちつともそう変わっていない政治。震災で露わになった問題点を声を大にして、私たちは生活を守りましょう。

みたり、ちつともそう変わっていない政治。震災で露わになった問題点を声を大にして、私たちは生活を守りましょう。

王子公園は

王子公園を大きく再開発しようとする神戸市。公園の3.5%を大学に100億円で売却し、多くの人びとに利用されている運動施設等を廃止・縮小する計画です。

本来、都市公園に大学を建てることはできません。それをするために、市は今年2月に「都市計画審議会」を開き、公園から大学誘致するエリアを除外する予定です。

あきらめるのは早すぎます！
ぜひ私たちとごいっしょに、声を上げましょう。それは、今です！

神宮外苑は

このような、都市公園への横暴な仕打ちは、全国にも起こっており、その典型は東京神宮外苑の再開発です。外苑の歴史的文化的資産・イチヨウ並木と100年の森を守ろうと、故・坂本龍一さんやサザンオールスターズなど多くの人びとも愛する声を上げています。

その運動と連携を強める集会を行います。
ぜひ、ご参加ください。



2024年1月28日(日)
14時～ 動物園ホール
サブグラウンド西



神宮外苑の運動の中心を担う
ロッシェル・カッパさん

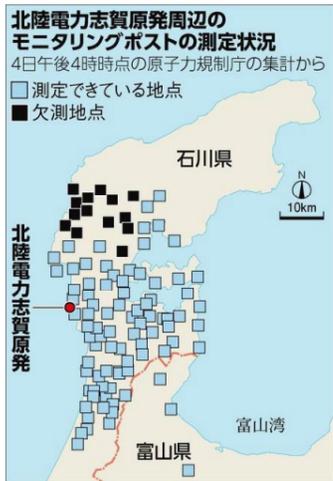
- 1めん 王子公園と神宮外苑つなぐ大集会 (1月28日)
- 2めん もし志賀原発が稼働したら大惨事に！先輩・仲間の団体から
- 3めん 「絵に描いた餅」だった避難計画／ボクの昭和／いのち
- 4めん 灘区の小さな震災記念碑／川柳／編集後記



プログラム：神宮外苑の運動の紹介 ◆ これからの行動提起 ◆ 共同宣言の発表



【主催】「王子公園・市民ミーティング」実行委員会
【事務局】神戸市灘区水道筋6-5-10 TEL:078-200-6361 FAX:078-200-6351



原発周辺の400人は8日間孤立
「避難計画は絵に描いた餅」井戸謙一さんの言葉通り
かつて2006年に金沢地裁の裁判長として、「志賀原発2号機の運転差し止め判決」を出した井戸謙一弁護士。今回の地震で原発の避難計画がやっぱり「絵に描いた餅」だったと明確に指摘(朝日新聞のインタビュー記事)。
①北陸電の想定(能登半島北側の断層が連動するのは96%)を超えて、今回は150%想定だろう。②放射線量を測定するモニタリングポストが18カ所欠測。③志賀原発半径30キロ圏内で8地区400人が、8日間孤立状態に。④避難計画で5〜30キロ圏内の住民はまず屋内避難だが、壊れた住居では被曝を防げない。圏外避難も道路が通行不可。
図は朝日新聞

1月1日もし志賀原発が稼働していたらフクシマ原発みたいに?!



△「避難計画は絵に描いた餅」という井戸謙一・元金沢地裁判長の言葉通り、志賀原発の北10キロの国道249号は今回の地震で通行不能になった。(朝日新聞)

時刻	北陸電力発表	志賀原発の現場
1月1日 16:10	志賀町震度7	原子炉建屋地下2階で震度5弱相当 1号機変圧器で警報 水位が警報設定値より低くなっていない確認
16:12		1号機カメラで燃料プール波打ち水の飛散を確認(約95%)
16:18		2号機変圧器油漏れで消火設備起動
16:43		2号機現場で焦げ臭いと感じ当直長119通報
17:29		2号機焦げ臭いのは油の臭いで火災の発生なしと判断 1号機で変圧器からの油漏れ 現地で確認 水位計 3メートルの水位上昇確認
17:42		
17:45		
18:30	2号機火災でないと消防連絡 林官房長官会見「変圧器で火災 消火済み」	
19:00		2号機変圧器油漏れ確認
19:48		2号機油漏れ停止を確認(350%と推定 後に訂正) 1号機変圧器の油漏れ停止確認(360%訂正) 2号機燃料プール水漏れ確認(約326%)
21:30		
22:20		
22:30		
1月2日 9:30		防潮壁 数センチの傾き
11:00	最初の記者会見「水位に有意な変化なし」と発表	
14:30		防潮壁基礎の一部数センチの沈下確認
21:00		約3メートル水位上昇訂正
1月3日 5:50		発電所内の道路数センチの段差確認
1月4日 11:50		物揚げ場でコンクリート沈下 最大35センチ段差
1月5日	2号機変圧器油漏れ19800%と当初の5倍訂正	※NHK「志賀原発 何が？」を参考に作成

浮かび上がった課題
志賀原発で変圧器が壊れ、外部電源を一部喪失
→原発構内に耐震性の低い電気設備
安全上の影響はない

山中伸介 規制委員長
把握していない断層が動いた可能性
→他の原発の地震想定は十分か
分析に相当の時間がかかる

空間放射線量の欠測や家屋倒壊、道路の寸断
→原子力災害対策指針の避難の前提崩れる
線量測定はドローンなどでもできる
(指針の見直しに言及せず)



昭和44(1969)年3月1日、ボクは京都発の急行丹波4号の車中にいた。鳥取大学医学部を受けることにしたのです。今までの経験からすれば、この時期受験地向かう列車には必ず数名の受験生が乗っているはずであった。ところが、受験生はボクだけなのです。
向かい側の関に座っている中年の男性は、テストの採点をしているようだった。話しかけてみると、大阪の府立高校の国語の教師だという。「受験生が誰も乗ってないですね。」「鳥大を受ける受験生は大坂から福知山經由で鳥取に行くので、こんな観光列車には乗らないよ」といった会話がありました。ナルホド丹後4号は京都を出てから綾部を経由して、宮津、天橋立から丹後半島をトコトコ横断してから城崎に至るといふ、物見遊山の列車なのです。
国語の教師は採点しながら、「この石段を上った先の寺に和泉式部の墓がある」とか、丹後半島の辺りでは「あの先に山椒大夫の屋敷跡とされる建物がある」と教えてくれました(なるみやすし ろっこう医療生協・元理事長)

切符を取ってくれた母は「城崎が5時過ぎだから、鳥取にはもう少し早く着くよ」と言ったのだが、鳥取は城崎のもっと先だということがわかった。このように当時の「東京暮らし」からすれば、大阪から先の山陰側の地理なんか「ヨクワカン」場所なだった。城崎から乗り継いで、浜村温泉の宿に着いたのは夜も8時を過ぎていました。
宿では8人相部屋で、そのうちの3人が医学部受験生でした。感じでは医学部志望の2人は二浪以上のようでしたが、ボクは一浪という事にしておいた。宿の大浴場は更衣室は別々なんだけれど、中に入ると男女の間仕切りがないでした。ボクが入った時は3人ほどの女性が入っていた。部屋に帰って「おい、ここは混浴だぜ。若い子が3人ほど入っていたよ」と。それと部屋の連中が風呂に行ったけれど、混浴の榮譽に浴したのはボクだけ。医学部に入れたのもボクだけなんです。

ボクの昭和
鳴海 安

29年前の阪神大震災で、今も目に浮かぶのは、見渡す限り崩壊した無数の住宅・建物。そして、飼い主がいなくなり住宅に残された猫たち。その付近を通ると、猫は見知らぬ通行人へ助けを求め、弱々しい声を上げ「ヨロヨロ」とすり寄ってきた。当時は、我が家も飼い猫と避難中で、保護してもやれず、とても心が痛んだ。
▼今度の能登半島地震ではどうなんだろう? 阪神大震災後に国が作成したガイドブックには、たしかに「災害時のペット同行避難」と書いてある。でも被災した人間でさえ、支援の手が行き届かないのに、「とても」のことなんて・・・というのが今でも本当のところだろう。
▼YouTubeに「柴犬らんま」というチャンネルがあり、その中の動画「被災5日目。全壊し変わり果てた自宅を見て衝撃のあまり足がブルブル震える柴犬」を見て、思わずポロリと涙が出た。
▼石川県の獣医師会、動物愛護団体、自治体の努力で、「同行」どころか「同伴避難所」も開設されている。こうした取り組みが広がりますように・・・

29年前の阪神大震災で、今も目に浮かぶのは、見渡す限り崩壊した無数の住宅・建物。そして、飼い主がいなくなり住宅に残された猫たち。その付近を通ると、猫は見知らぬ通行人へ助けを求め、弱々しい声を上げ「ヨロヨロ」とすり寄ってきた。当時は、我が家も飼い猫と避難中で、保護してもやれず、とても心が痛んだ。
▼今度の能登半島地震ではどうなんだろう? 阪神大震災後に国が作成したガイドブックには、たしかに「災害時のペット同行避難」と書いてある。でも被災した人間でさえ、支援の手が行き届かないのに、「とても」のことなんて・・・というのが今でも本当のところだろう。
▼YouTubeに「柴犬らんま」というチャンネルがあり、その中の動画「被災5日目。全壊し変わり果てた自宅を見て衝撃のあまり足がブルブル震える柴犬」を見て、思わずポロリと涙が出た。
▼石川県の獣医師会、動物愛護団体、自治体の努力で、「同行」どころか「同伴避難所」も開設されている。こうした取り組みが広がりますように・・・

29年前の阪神大震災で、今も目に浮かぶのは、見渡す限り崩壊した無数の住宅・建物。そして、飼い主がいなくなり住宅に残された猫たち。その付近を通ると、猫は見知らぬ通行人へ助けを求め、弱々しい声を上げ「ヨロヨロ」とすり寄ってきた。当時は、我が家も飼い猫と避難中で、保護してもやれず、とても心が痛んだ。
▼今度の能登半島地震ではどうなんだろう? 阪神大震災後に国が作成したガイドブックには、たしかに「災害時のペット同行避難」と書いてある。でも被災した人間でさえ、支援の手が行き届かないのに、「とても」のことなんて・・・というのが今でも本当のところだろう。
▼YouTubeに「柴犬らんま」というチャンネルがあり、その中の動画「被災5日目。全壊し変わり果てた自宅を見て衝撃のあまり足がブルブル震える柴犬」を見て、思わずポロリと涙が出た。
▼石川県の獣医師会、動物愛護団体、自治体の努力で、「同行」どころか「同伴避難所」も開設されている。こうした取り組みが広がりますように・・・

なかまの団体、先輩団体からの通信・会報

許すな! 憲法改悪・市民連絡会
●私と憲法(272号)
・年頭の辞
▽誰がどんな目的で「台湾有事」を喧伝しているか(内田雅敏・弁護士・共同代表)
▽平和憲法は主権者が磨かなければ(高良鉄美・琉球大名譽教授・共同代表)
・パレスチナに平和を市民緊急行動

神戸学生青年センター
●食糧環境セミナー ※参加費各1000円
「有機農業でつながり、地域に寄り添って暮らすー岐阜県白川町ゆききハートネットの歩み」
・2月17日(土) 午後1時30分~3時
・西尾 勝治さん(西尾フォレストファーム代表)
「トリチウムによる内部被ばくの危険性」Zoom講演

・2024年3月16日(土) 午後1時30分~3時
・遠藤 順子さん
(六ヶ所村の新しい風 共同代表・内科医)
日本核医学PET核医学認定医、日本医師会認定産業医。現在は津軽保健生協・健生病院非常勤医師共著「放射線被ばくの争点」「汚染水海洋放出の争点」(どちらも緑風出版)
・Zoomでの参加希望者は、3月14日までに info@ksy.jpあてメールで申し込んでください

来年は、阪神大震災から30年 語り継ごう 経験と教訓

「生きた証」

灘区にある震災の小さな碑

▼「生きた証」の碑は、本会ニュースで実は2回目の記事。最初は2010年の1月号で、阪神大震災から15年目だった。

▼だが、両親の高齢化で語る会は中断したが、昨年復活。しかし、3ヶ月後その父親が亡くなった。

▼新婚4ヶ月で灘区の石屋川公園近くのアパートに住み、大震災で夫婦ともに死亡した伸也さん(享年27)と富子さん(同25)。

▼昨年末に、「慰霊と復興のモニュメント」に父親の銘板が新たに加えられたという。

▼二人の死を悼んで、豊岡市在住の両親が5本の桜を公園に寄贈植樹。そして根元には「生きた証 伸也・富子」と記した小

▼本会ニュースで最初の記事タイトルは「生き

慰霊と復興のモニュメント

—神戸・東遊園地

2000年にできたモニュメントは、当初は神戸市民と市内の犠牲者が対象だった。その後、市外の犠牲者や震災が遠方で亡くなった人、復興や追悼行事に貢献した人らも対象になった。毎年12月に銘板追加式典が開かれる。

ている証を」というものだった。最後の部分を採録しておく。

：今年も震災関連の行事が多くあった。だが、犠牲者たちが求めるのは追悼だけなのだろうか。彼らは生き残った私たちに訴え続ける。忸怩たる思いとともに、「生きている証」を示すように。...

※毎日新聞、朝日新聞を参考にしました。



生きた証 富子 伸也

2010年1月17日の朝、亡くなった若夫婦の好きだったミルクコーヒーとミルクコアがお供えでした



2024年1月17日の朝



今年は小さな花束が添えられていました

俳句・山柳

募集

炊き出しの
一杯 大きな
ひと心地

29年前、避難した小学校。被災者が持ち寄った米や野菜で炊き出しが行われた。給食用のお椀一杯のおかゆ。この日初めての食事だった。体育倉庫で5〜6家族が夜を明かした。
「おほよし川柳」(1.11)

編集後記

へんしゅういき

編集後記

▼自民党と派閥とお金、切っても切れない奇術のヒモ、悪臭プンプン腐れ縁。
▼漁港の4月隆起のを見たショック。この国で原発を造らせ稼働させてならぬと改めて決意。
▼広島で被爆し、阪神淡路大震災を経験し、女の子4人を育てた義母、正月4日に百歳超えて大往生。
▼暑さ弱いが寒さは強いはずが、今やどっちも。ご自愛を。